

毎年6月は平和月間として平和集会が行われます。ご存じのとおり、23日には慰霊の日を迎え、今から80年前のその日、組織的な沖縄戦が終結した日とされています。伊平屋村は1945年（昭和20年6月3日）に米軍が上陸しました。伊平屋村では、毎年6月3日に「村慰霊祭」を行っています。伊平屋小学校では、全児童で平和の願いを込め折り鶴や大型ちぎり絵を作成し、奉納しました。恒久平和を願い、これからの将来、人々が平和に、そして幸せに生きていけるよう願ってほしいと思います。

伊平屋村慰霊祭

6月3日、伊平屋村の慰霊祭が行われました。村役場や各団体代表者の方々、そして遺族の方々が参加して戦争で犠牲になられた人々の御霊を慰め、哀悼の意を捧げました。本校からは6年生が参加し、児童で折った千羽鶴を奉納して犠牲者を追悼すると共に、世界の恒久平和を願いました。この小さな島でも多くの犠牲者がおり、平和の礎には312名が刻銘されています。

戦争体験者が減っている今、私達は悲慘な沖縄戦を忘れずに、二度と戦争を起こさず、世界の恒久平和を願い後世に語り継いでいきましょう。



平和集会：城間照子さん



6月3日（火）1校時に、田名にお住まいの城間照子さんを講師としてお迎えし、戦中戦後の伊平屋島の生活の様子をお話ししていただきました。家族で田名の山の中に逃げた。逃げる途中に手榴弾でやられて、足がちぎれた人もいた。けがした人を助けることができなかった。自分が逃げることで必死だった。戦後は、田名に動かなくなった戦車もあったが、スクラップ（鉄）として売り、生活をした。学校がなく、みんな田んぼや畑の手伝いをした。など、貴重なお話を聞くことができた。度々「皆さんは幸せよ」という言葉を子どもたちに投げかけていたことが印象的で、とても心に響きました。